

事業名：産学官民の連携による「ロハスピレッジかつらお」の構築と実装 2020年度事業の概要

日本大学 連携市町村：葛尾村
現地拠点：双葉郡葛尾村大字落合字落合20-1

事業のポイント

日本大学工学部と葛尾村との協定に従い、本学が掲げる「ロハス工学」に基づき、産学官民の連携による健全で持続可能な地域づくりを目指す。その内容は①交流の場と社会インフラ、②グリーンインフラ、③ドローン技術の活用からなり、これらの技術を統合した「3Dマップかつらお」および「鳥獣被害対策ネットワーク」の構築と実装などを図る。

2020年度の活動内容

- 各種イベントを通じた復興交流館「あぜりあ」の利活用の促進を図る。
- 産学官民の連携による村内橋梁の点検&予防保全、および道路の簡易点検・診断技術の構築を行う。
- 「ロハスの花壇」を活用した汚水の多目的利活用と本施設を活用した環境学習を行う。
- ドローン等によるイノシシの生態調査を実施し、人とイノシシの共生の視点から対策方法を検討する。
- ドローンスクールを開講することで、ドローンビレッジかつらおの定着を図る。
- 上記の技術を統合した「3Dマップかつらお」および教育プログラムの構築と実装を図るとともに、他大学・他市町村と連携し、「鳥獣被害対策ネットワーク」を設立・実践する。



取り組みによって得られる成果

これらの活動成果を役場や村民と共有し、事業をさらに加速させるため、「3Dマップかつらお」および教育プログラムの構築と実装、「鳥獣被害対策ネットワーク」の設立と実践を図る。その結果、健全で持続可能な葛尾村、すなわち「ロハスピレッジかつらお」の復興まちづくりの実現が期待される。